

こどもにも応援していただき 皆さまへ

春の桜は満開となり、子どもたちは春の気持が良、風を感じながら元気に遊んでいます。皆さまはいかがお過ごしですか。この時期は、1年のなかで一番子どもの成長を感じる時。

昨日まで1年生だった子が新1年生を迎えると、優しく押し道具の使い方も遊び方を教えています

先日、子ども同士がけんか、思わず「手」が出た様子を見ていた低学年の男の子が「女の子が暴力しちや、たのには理由があると思う。1つは、その時のことにお腹がたつたから。2つめは、今までの積み重ねがあるから。3つめは、別のことイライラして、その子にあつたから。」と説明してくれました。昨年の夏、この男の子は、一緒に遊んでいた子たちが一方的にルールを変えたことに腹を立ち、居室の隅でしばを抱えたことにくやし泣き続けたことがあります。その時彼に伝えたことは自分の気持ちを言わないと相手に伝わらないこと、そして話すとき相手の気持ちもわかること。少し考え、彼は泣きじやくりながらも子どもたちに伝えることができました。そして聞きとりながら彼の話を最後まで聴き、自分たちの気持ちを伝えた子どもたちと素敵れた日々の経験、積み重ねの一場面ですが、今雑誌で紹介していただくことで楽しく読んでいただくと幸いです



代表理事 田中雅子



～いつも仲間と一緒にいて、驚くとコロコロ丸くなると可愛いだんご虫は、子ども達の大切なお友達～

心の真ん中にあるポカポカちゃん

フリースクールのある日、子ども達とスタッフが買い物に行きたいということで、私はお留守番をして部屋の片付けをしていたの。

一時間半が経った頃、玄関の呼び鈴が鳴ったから、ドアの内側から「どーぞー」ってなんと言っても入ってこないから不思議に思ってドアを開けると、出かけたみんなが並んで立っていました。

「なんで入ってこないの～？」と聞くと、差し出されたのは紙袋。

なかを開けると、靴？

「なんでなんで～？」と？マークの私。

すると子どもたちが照れくさそうに

「けるちゃんの靴ボロボロだったから、新しい靴を川開き祭りの売り上げで買おうってみんなで決めたんだ」と教えてくれました。



去年の夏の川開き祭りの売り上げの使い道は、みんなで話し合うことになっていたから、この日休みの子にも電話で了解をとって、靴のサイズは、玄関に脱いでいるのをこっそり調べたみたい(笑)

スタッフが後から教えてくれたのは、まわった靴屋さんは4軒。

「スニーカーじゃない方が良いよね」

「けるちゃんの服装にはテクテカの素材じゃない方がいいね」

「色はクリーム色か茶色が似合うよね」など、あーだこーだ話し合いながら決めたんですって。

こんな話を聴いたら嬉しくてたまりませんよね♪



この“相手を想う気持ち”ってどこから芽生えるんだろう。誰が教えるのかな

よく大人は、「みんなで仲良くするのよ」「人には優しくしなさいね」って言います。

それはとても大切なことだけど、仲良くするのはその子と一緒にいて楽しいから。優しくするのは、優しくされて嬉しかったから。

どっちも、本人が“そうしたい”と思うからできること…う～んちょっと違うかな。

そこに理由付けなんてなくて、心の真ん中にポカポカとあるもの…かな

言葉にするのは難しいけど、理屈じゃない、マニュアル化できない、もちろんAIさんには真似できない、『人』だけが持つ素敵な『こころ』だと、私は思います。

私は、心の真ん中にポカポカの子どもから、ポカポカをたくさんもらっているから、他の誰かにもポカポカをあげたくなる…ポカポカはぐるぐる回りながら広がっているんだな～

みんなのポカポカは私の宝物だよ。大切に履くね♡

代表理事 田中雅子(通称:ける)

☆認定 NPO 法人こども∞感ばにー(愛称:こどもにー)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域の人々と一緒にプレーパークやフリースクール、放課後児童クラブを行っている団体です。

春だあ〜びんがびかの声

この春、小学校や中学校、高校に進学したプレーパークとフリースクールの子どもたちに、「これからやってみたいことや今の気持ち」を聞いてみました！



新小学生

新中学生



べんきょうを
がんばる。

Yくん



中卒で
ハローワーク
に行きた
ない!!

Rさん



中学校にはい
てもかいつか
きょうをがんば
りたいです。

Hくん



中学を全力で楽しみたい
雨死
踏死

Tくん

新高校生

高校を全力で楽しみたい。
勉強もがんばる。(予定)

ペンネーム uto!!!



ベースがうまくなりたい



Kさん

皆さんご入学おめでとう！

新たな環境に戸惑うことも多いと思うけど、たくさんの新しい出会いを大切にしながら自分らしく過ごしてほしいと思います。

新しい勉強や部活がはじまり忙しくなると思うけど、いつでもプレーパークやフリースクールに遊びに来てね！

(かつちゃん)

こどばにー こどもみらいずセッション

こどばにーの活動報告会を石巻と東京で開催しました！

東京での報告会は2019年に開催してから約5年振り！遠くからも応援してくれている人たちと、コロナ以来久しぶりに会うことができました♪ここでは報告会の様子をお伝えします！

石巻編

こどばにー創立11周年“これまで”と“これから”

2024年3月20日に石巻市ささえあいセンターにて活動報告会“こどもみらいずセッション”を開催し、こどばにーの創立からこれまでの活動、そして、これからの展望についてお話をさせていただきました。地域、行政や市議会議員、子ども支援団体など総勢63名の方が参加してくださいました。ありがとうございます！



プレーパークやフリースクールを利用する子どもが登壇した「子どもトークセッション」では、子どもの声に会場が笑い声で包まれ、「あなたが思い描く子どもの居場所」をテーマに行なったグループワークでは、参加者が想う居場所について意見を聴くことができる貴重な時間となりました。



こどばにーはこれからも、『子どもが自分らしく安心して過ごせる居場所』を地域の皆さまと一緒に作り続けていきますので、温かく見守っていただけると嬉しいです。

引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。(みー)

石巻かほくに掲載されたので、QRコードよりご覧ください！



東京編

遠く離れていても、心強い存在

3月下旬、東京で活動報告会を開催し、こどばにーにご縁のある14名の方が参加してくれました。



東日本大震災をきっかけに始まった石巻での活動報告のなかで、東京生まれ育ちの私が常々感じている、東京と石巻では子どもの居場所や学びの選択肢に格差があること、石巻でも首都圏と変わらない『居場所や学びの選択肢がある地域』をつくっていきたいことも伝えました。

今後は定期的に首都圏での報告会を開催し、遠くからも応援してくださっているみなさんの声も活動に取り入れていきたいです。

いつも遠くから見守り応援してくださっているみなさんに心から感謝です。

参加者からは、石巻の活動の課題がよく分かった。これからも応援します。という声と共に、活動継続のための資金調達方法へのアドバイス、石巻からプレーパークの大切さを発信してほしいと期待の声もいただき、これから活動を継続していくためのエネルギーチャージの時間になりました。

また会いに行きます。

(けろ)

プラパーク わたのな ひがこー

【プレーパークわたのな】
毎週金曜日 15:00~17:00
毎週土・日曜日 10:00~16:00
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157

詳しい場所や
プレーパーク
活動の様子は
こちらから
↓↓↓

【プレーパークひがこー】
毎週水曜日 15:00~17:00
所在地:石巻市鹿妻南2-7
(鹿妻東公園)



プシワタ ♪: あの人を忘れないように…。

- 3.11の東日本大震災から今年で13年。今の小学6年生が生まれた年の出来事なので子どもは震災を体験しておらず、ほとんど知りません。そんな中、前日である10日のプレーパーク開催時に一人の子どもが「旗を作りたい」と黙々と作り、一生懸命に旗に文字を書いていた。『「あの人」を忘れないように。』



この言葉を書こうと思った理由を聞くと、「自分は経験していないけれど、たくさんの方が亡くなったんでしょ？だからお墓みたいにしよって」と話し、さらに「今日で最後のボランティアさんもいるからその思い出も忘れないように」と2つの意味を込めていました。

この旗は今でも子どもの遊び道具となっており、震災のことを話すきっかけとなっています。(わこう)

♪: 一緒に作って食べる楽しさ ♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪



プシワタでは毎週土曜日に子どもとお昼やおやつを作っています。お小遣いを出し合って買った食材や親御さんに持たせてもらった食材を使って子ども達が何を作るか話し合い、春の日差しが心地よいこの日は、青空の下で里芋の煮ころがしを作ることになりました。ピーラーで皮を剥き、包丁で食べやすい大きさに切り、味見をしながら里芋の硬さを確認。「美味しくできた！」と満足げな表情を浮かべる姿を見て、子どもにとっては料理も遊びの一つだと感じました。

鍋で炊いたご飯を茶碗によそい、「あえてお腹を空かせてからきて良かった」と言いながら箸を口に運ぶ様子を見て、今後も子ども達が楽しく料理ができる環境を継続していきたいと思いました。(かっちゃん)

♪: 1日ひがこー宣伝部長 ♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪・♪



1日ひがこーを子どもに告知するチラシをつくり忘れたわこう。やばい！と思いながらひがこー開催中に手書きでつくっていると、子どもが「俺も手伝う！」といって線や絵を描いて装飾してくれました。その場にいた人数分のチラシができると、「じゃあみんなに渡してくるね！」と張り切って配り、「是非来てね」とほかの子どもや親御さんをお誘いする子ども。



そして「近くに友達の家があるから渡してくるよ！」「明日の学校で黒板に貼ってみんなに知らせるね！」と告知する気満々で帰って行きました。

そんな子どもの協力もあり、1日ひがこーには50人以上の子どもや親御さんが参加！

子どもたちと一緒につくっていくプレーパークひがこー。2023年度も大盛況で終わりました～。

2024年度も変わらず子どもたちや地域の方とつくり続けるプレーパークにしていきます！(わこう)

ほうかご! 児童クラブ

●放課後児童クラブとは
 保護者が就労等により家庭に不在となっている子ども(小1~小6)を対象に、放課後や長期休みに家庭に代わる遊びや生活の場を提供する児童福祉事業で、学校や地域、保護者と連携し家庭の子育てを支援します。

レゴ遊びの可能性

室内遊びではレゴを使って遊ぶのが人気です。児童クラブにあるレゴには、作品の作り方や見本がありません。そのため子どもたちは自分が作りたいもの、例えば、キャラクターや乗り物や武器、基地やお家など想像力を働かせて作ります。

児童クラブで初めてレゴに触れ遊び始めた1年生の女の子の作品にはとても驚かされたのを覚えています。3年生のお友達に手伝ってもらいながら試行錯誤を繰り返し、完成させたのは二階建てのお家。

家の間取りも自分で考え、細部までこだわって完成させたお家をお母さんに披露し驚かせていました。

レゴ遊びが、小さな失敗や成功の経験になり、違う学年の子たちと交流して様々な個性に触れる機会や子どもたちの創造性の発揮の場になっていると感じています。

(よねよね)



こどもたちの成長の証

児クラが民営化になり2度目の春となります。子ども達を見ていると、遊び方も過ごし方も成長していることを感じました。

当初の“かくれんぼ”は大人が手伝って隠していたのが、今では自分達で協力し友達を隠してあげています。“バスケ”も子ども達が仲間を集めスタッフと話し合うことで体育館でのバスケを実現。



夏休み企画の肝だめしも好評で、子ども達が話し合い、再度冬休み企画で実現。それを見て下の子ども達も話し合うことで、3度目の肝だめしを春休みにも行いました(笑)。

この一年で子ども達は、遊びの中にも話し合うことでやりたいことの実現を学んだと思います。4月から新一年生も加わり、これからも話し合い協力し、やりたいことをいっぱい実現し、成長して欲しいと思います。(ふった)



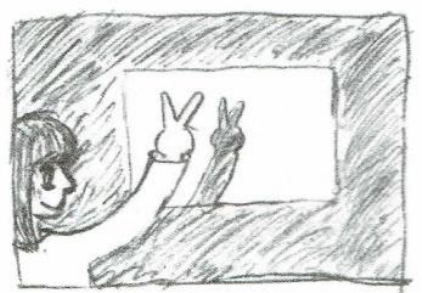
かけあそび

児童クラブでは平日の17時におやつタイムがあります。この日も3年生の女の子3人が自分の食べるおやつを選んで席につくと、そこにちょうど夕陽が差し込んでいました。

最初は「まぶしい〜」とわずらわしそうにしていたのですが、しばらくして「見て見てー!」と3人に呼ばれて見に行くと、夕陽でできた自分たちの陰を見ながらピースをしたりちょうちょを作っていたりと、影遊びをしていました。

とても楽しそうだったので「写真撮ってもいい?」と聞くと「この角度で撮って!」と画角指導が入るこだわりぶり。

子どもたちは、何もなかったところから遊びを生み出す天才だなと改めて感じました。(ゆい)



毎週火・木・金曜日
10:00~16:00
当会事務所1階で開催
体験無料
減免制度あり

フリースクールの活動の様子は
こちらから
↓↓↓


ぼはっく合宿 in 加美町！

3月に1泊2日で合宿を行いました。

今回は子どもたちで宿泊場所から内容、持ち物まで全てを計画！

やくらいコテージに宿泊し、オニコウベスキー場でスノボや雪遊びをしてきました。



←スノボに初挑戦！
4時間でどんどん
上達しました。



←夕食のケチャップ
パスタ作り！
ソース作りと茹でる
役割を決めて、協力
できました。

後日、合宿で楽しかった事や来年の合宿でやりたいことを聞いてみました。



カードゲームが
楽しかったな～

カードゲームとか雪遊び。
雪玉投げたのも楽しかった。
来年は今回じゃないところに泊まって、
その場所を探検したいな～！



全部楽しかった！！



スノボ！初めてだったけど滑れたのが
楽しかった～。来年もやりたい！



合宿の準備から当日まで、子どもたちの様々な姿を見ることができました。自分から声をかけて会議を始める子、自分の意見を言えるようになった子、声を掛け合って自分のやることを見つけていく子...合宿という一大イベントの中で大きく成長していく姿に感動！！！！ (もっちゃん)

自分の“やりたい”を実現するために

今年も受験の季節がやってまいりました。今年は3名の進路が決まりました！

ぼはっくでは面接練習に特に力を入れています。「自分が高校でどんなことをやりたいか」「将来どんな職業に就きたいか」など、自分について話せることが重要なため、面接練習の大部分は自分の考えを深掘りして言語化する時間でした。

この時間はこれからの人生においてとても貴重なものだったと思います。今回整理した“やりたいこと”から変わることもあります。そんな時には今回の経験を思い出して、自分で整理できたらいいな～と思います^^

もし整理できなくなったら、いつでもぼはっくに帰っておいで！
輝かしい高校生活がおくれることを願っています。(ロッキー)



うほほーい **ピカリこらむ**

学校に行かない・行けない子どもについて、けるがメッセージをお届けするコーナー
そしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。
理由はどんな子どもも**ピカリ**と輝いているから

いざ！新たな学びを探しに♡ ー○ー✧ー◇ **其の9**

ここ数か月、フリースクールの子どもから「自分たちが学びたい学校をつくりたい」
保護者や『不登校』支援の仲間からも「石巻市内に学びの選択肢を増やしたい」という声。
3年前から私も思い続けていた“子どもが主体的に、学びの環境をつくる学校づくり”とマッチングし、「とうとうこの時期がやってきた♪」とワクワクしている私がいいます。
では、子どもが主体となって学びの環境をつくるには、どんな場なのでしょう。
昨年度、文部科学省は、『不登校』の児童生徒が通える“学びの多様化学校(以前は、不登校特例校)”

を全国に300校設立すると発表しました。これは、自分が通う公立の学校に行かないことを決めた子にとって新たな選択肢となり素敵なことですが、入学の条件は『不登校』であること。うーん、これは私が思い描く学びの場ではありません。
もっともその状況になる前に、学校に入学する時点で選択できる仕組みをつくりたいのです。
『不登校』というレッテルをペトって貼られることで、その子の人生や保護者・家族の人生も変わってしまうことがあります。そして関心がある人は連絡くださいね。一緒にやりましょう(^)/ (ける)

地域で子どもを大切にしよう！



地域のお宝みっけ！

昨年11月に東松島市五十鈴神社でプレーパークを行った際にご協力いただいた皆さんと、振り返りや今後の子どもたちの遊び場づくりについての意見交換を目的にお茶会を開催しました。
開催の発起人であり、子育て中のお母さんを始めとし、開催にご協力頂いた神社役員の方々、隣のお寺の方などの地域の方々、遠方からはプレーパークづくりの先輩親子も集まりました。
前回の振り返りから、話は今昔の子どもを取り巻く環境、学びの形の変化、地域の中の遊び場候補など多岐に渡り、皆さんの熱い思い溢れる会となりました。
その中でもとても印象深いお話が。
「以前、田んぼで遊ぶ行事を行っていた。泥の上をソリ滑りしたりね。保護者の理解を得るのが難しくて続けられなかったけれど、できることなら子どもたちには日暮れまで泥の中で遊ぶ経験をさせてあげたい。」



夕暮れの田んぼから家を見ると家の灯が恋しくなるんだ。家族を離れたところから思う経験になるんだ。そんな経験させてあげたいんだ。」
この話を聞いた他の方から、「近所にこんなに熱い思いを持った方々がいたとは知らなかった」という声がありました。子どもは地域の宝ですが、地域の子どもの想い動く人もまたお宝。世代を越えてお宝同士がつながる機会をつくれたこと、とても嬉しく思います。(えりっちょ)

※みやぎ地域復興支援事業助成金を頂いて行ってきたこの地域コミュニティづくり目的とした移動プレーパーク事業は2023年度をもって終了となりました。ご協力頂いた皆さま誠にありがとうございました。今後、移動プレーパークをご希望の方は、遊びの出前事業としてご依頼いただくこととなります。詳細、予算などご相談ください。

同じ“思い”をもつ人たちのネットワーキング活動

まーいいね

みんな悩んでんだなあ～

●まずは石巻から“不登校”という言葉をなくすネットワーク

(愛称:まーいいね)

「子ども一人ひとりが、自分にあった学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる」を理念に、2021年5月に設立。多様な分野の市民が集って活動しています。

まーいいね主催で『不登校』シンポジウムを開催しました！

目的は『『不登校』当事者や教育機関などの立場を超えてつながる』。当日は学校の先生やフリースクールの利用児、保護者、不登校支援者や市議会議員など 62 人の様々な立場の方々が集まり、その垣根を超えてお話をすることができました。

「自分の子が学校に行けないことで先生に迷惑をかけているのではないか」という保護者の声。「自分のせいで学校に来られなくなったのではないか」という先生の声。不登校で悩んでいるのは子どもや保護者だけでなく、同じく先生も悩んでいると気付かせてもらいました。

石巻の不登校数は 400 名を超えました。そんな今だからこそ、今回のような立場を超えて話せる場が大切だと思います。(ロッキー)



当事者によるトークセッションも実施！

♪ 学びの場って可能性が満載 ♪

『学校づくりチーム』で月 1 回ほど作戦会議をしているなかで、学校ってどうやってつくるのかもっと情報が欲しい…ということで、今回は特色ある学校やフリースクールを見学に来ました。

アートを授業に取り入れ一人ひとりに寄り添う授業を大切にしている小規模特認校の伊那市立高遠北小学校。



大自然をフィールドに、馬と一緒に過ごし、かまどで火を焚きながらご飯づくりをするフリースクール。そして「誰もが豊かに、幸せに生きることのできる世界をつくる」をコンセプトにかかげた大日向小・中学校。勉強進め方は自己管理(詳しくはそのうちゆっくりしますね)どの『場』も、子どもが楽しそうに過ごし、私には自然体に映りました。これからも、学びの場づくりの作戦会議を進めていきます。

どう展開するか乞うご期待♡

(けろ)

渡中学区 WWI

冬の肝試し in 渡波小学校！

●渡中学区 WWI

WWI は、“わっしょい渡波委員会”の略。地域の子どもは地域のみんなで育てたい。そして子どもと一緒に地域をつくろう。そんな思いを持った仲間であつた会です。

昨年から大好評の渡中学区 WWI の肝試し。渡波小学校では 2 月に開催し、100 名以上の子どもたちが参加しました！

今年は「脅かし役をやりたい！」と 6 年生 3 人がお化けに大変身！

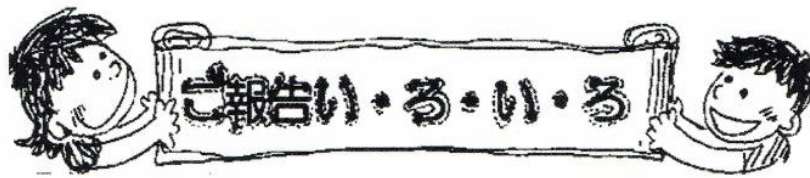
「どうしたら怖いかな？」「こうやって驚かせよう！」と作戦を練り、見事なチームワークで驚かせていました！

普段はやさしく接してくれている上級生の恐ろしいお化け姿をみて、会場には子どもたちの絶叫が響き渡り、泣き出す子どもや入る前から怖がる子どもたくさん。

PTA や学校、地域団体、子どももあわせてみんなで渡中学区 WWI。

来年度も心強い仲間と一緒にさらにパワーアップしていくぞ～！(わこう)





能登半島地震の被災地へ

元旦に起きた能登半島地震。誰もが新たな年を迎えたひと時を過ごしていたさなかにそれは起きました。毎日テレビで放映される能登の被災状況を観ながら、「現地を訪れ、自分の目で子ども達の状況を確認したい」と思い、2月に能登半島を訪れました。

崩壊した家屋が道路をふさぎ、隆起した地形を目の当たりにして、東日本大震災の津波被害と違えど、13年前にボランティアとして石巻に来た時に「信じられない光景」と感じたことを思い出しました。

「まさか、平和な日常生活がなくなるなんて、震災が起きるまでは思いもしなかったけど、失って初めて気がついた。もうあの生活は戻ってこない」

そう話してくれた何人もの顔が浮かびます。

そして、生活再建のために精一杯になっている大人の姿を見て子どもは「わがママを言ってはいけない」と自分の気持ちを抑えている様子も。

そんな思いで各所を訪れている時、七尾市でフリースクールと児童クラブ(学童保育)を開いている方とご縁でつながることができました。



寄付先の中村さんと滝沢さん。右は一緒に訪問した野津さん。

任意団体の小さな組織。こんな時だからこそ子どもの居場所を開きたいという想いを聴き、1月にこどばに一の子どもと石巻の有志の方たちと街頭募金で集めた寄附金を彼女たちにお渡ししました。こどばに一も思いだけで始めた団体ですからね。微力ですが、彼女たちのような団体の力になりたいと思いながら帰路につきました。(けろ)

住友生命より、こどばに一の活動に“賞”をいただきました

第17回『未来を強くする子育てプロジェクト』で“スミセイ未来賞”をいただきました。

子どもの主体性を大切に、プレーパークとフリースクールで子どもが安心して過ごせる居場所を地域の人と一緒につくってきたことが評価されました。

やっぱり、賞をいただくって嬉しいですね。こどばに一がというより、みんなであーだこーだ言いながら遊具をつくり、居心地のいい場所をつくり…いつもそこにゴールはなくて、変化？進化？し続ける活動…それがこどばに一の活動だな～と思っています。

だから、11年前の創立時にプレーパークと一緒につくった子どもや地域の人がいなければ『今』はないし、『今』のみなさんがいなければ未来もないのですよね。

だから、活動の歴史を第三者が認めてくれたことは嬉しいことです。

みんなとここまで来れたことに感謝♡

(けろ)



事務局からのお知らせ

「みやぎチャレンジプロジェクト」のご報告とお礼

「目標 250 万円達成しました！！」

2023年12月1日～2024年2月29日までの3カ月間、「プレーパーク」の活動継続のための募金活動を行いました。そして、みなさまのご支援とご協力のおかげで総額2,560,984円の募金が集まり、目標を達成することができました。

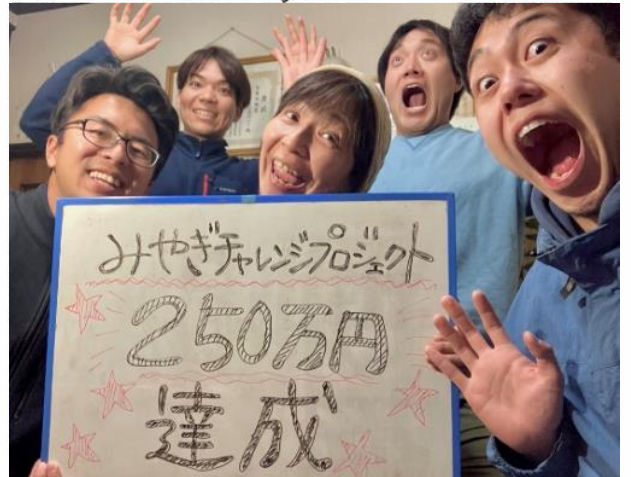
寄付をしてくださった方、Facebook をシェアしてくださった方、募金箱を設置してくださった方、街頭募金でご協力してくださった方、ありがとうございます！

たくさんの方々のご支援とご協力に支えられて、活動を継続できることに感謝いたします。

本当にありがとうございました！

(みー)

ご支援・ご協力いただき
ありがとうございます！



能登半島震災チャリティ企画「おたがいさま縁日」

2024年元旦に発生した能登半島地震の復興を応援するために、チャリティーマーケット『おたがいさま縁日』を開催いたします。こどばにーのフリースクールやプレーパークの子どもたちも出店しますので、ぜひお越しください！

【開催日】2024年4月20日(土)

【時間】10:30～16:00

【会場】イオンスーパーセンター石巻東店
(宮城県石巻市流留七勺1-1)

※詳細は右記のQRコード
よりご覧ください。→→



必要経費を除く

売り上げを、石川県金沢市の
『五日月商会』に寄付します。

子ども達の支援活動に
役立ててもらいます。

こどばにー通信「だん子むし」発行元



認定 NPO 法人
こどもの感ぱにー

宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7

Mail: info@codopany.org

Tel: 070-2436-8517 (事務局)

HP: <https://codopany.org/>

◎継続サポーターのお願い

こどばにーの活動をみなさまのお力で
支えてください。

サポート金額は月額 300 円から♡

子どもが第三の大人とつながり、安心
して過ごせるセーフティネットの場づく
りにご協力ください。

詳しくはこちら →



◎活動報告の配信

☆こどばにーのこどいろいろ
(けろの独り言も配信)

●Facebook

●Instagram



「いいね」してね♡